

虹のひろば（2024ピースアクションinヒロシマ）に参加！ 64名が参加し、折り鶴を献納しました！



8月5日（月）グリーンアリーナ（広島県立体育館）にて開催された、2024ピースアクションinヒロシマ「虹のひろば」に福山から64名が参加しました。（写真上）

最初に、相生橋で降り、支部、班、事業所の利用者が心を込めて折った「折り鶴」を、原爆の子の像に献納しました。（写真左下）

今回は、小学生4人が初めて参加し、被爆の実相に触れました。毎年参加されているHさん夫妻は、「被爆で亡くなった兄に会って来ました。」と挨拶されました。

福山医療生協は平和の展示（写真右下）を毎回しています。原爆投下がアメリカの独断ではなく、連合国の承認のもとになされたことの事実を驚く方、日の丸の寄せ書き（実物）の展示に興味を持たれる方等多くの方が見て行かれました。虹のひろば合唱団の合唱では、「さくらよ」「まちゃんと」「青い空は」の3曲を唄いました。福山から、虹のコーラスのメンバー7名が参加しました。広島修道大学ダンスサークルによるオープニング、司会の杉浦圭子さんの話や八幡照子さんの被爆証言、安田女子高校・大学生による書道パフォーマンス「雲外蒼天」も感動を呼びました。